

令和3年度 事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大によりその対応が私たち観光関連事業者に強く求められ続けています。経営そのものに影響を与える厳しい状況の中、三重県では、大きなダメージを受けた県内観光産業の再生に向けて、「県内観光事業者向けガイドライン作成の手引き～安全安心な観光の実現に向けて～」が策定されています。各観光事業者がこれに基づき作成したガイドラインを遵守し、オール三重で感染症予防対策を行うことにより、旅行者との信頼関係につなげ、安全安心な観光の実現に向けて取り組んでまいります。

政府、自治体の緊急事態宣言などに伴う自粛要請にしたがい年度当初からゴールデンウィークを越えて観光関係事業者の経済活動が停滞しています。宣言解除後も引続き県外移動の自粛と県外からの来県自粛要請がしばらくは続くものと推測されます。

このことから、令和3年度の事業計画のご提案にあたりましても、来訪客の集客誘致や市外での観光客誘致イベントなどがたちまち実施できない状況が当面続くものと推察しており、例年どおりの事業計画策定ができないことを含みおきいただいた中での提案となりますことをご理解くださいますようお願いいたします。

I 公益事業に関わる事業

1 観光まち歩き事業

(1) 「ボランティアガイドと歩こう(年6回)」企画

観光ボランティアガイドが名張市内の名所旧跡や観光スポットを中心にその由緒やエピソードなどを案内して歩き、参加者の名張への好奇心を育み、これまでは詳しく知らなかったこのまちの魅力を伝えていきます。このことで名張への愛着と名張の観光に対する意識を高め、これを拡散してもらえよう促します。

この企画においては、ウイルス対策のため5月開催分が中止を決定していますが、以降の開催について、イベント開催ガイドラインの徹底を図り、開催を前提に進めていきたいと考えています。

(2) 観光ボランティアガイドの案内スキルの向上支援

案内依頼のある日々のガイドに対応するため、定期的にガイド間で勉強会を催し、案内スキルの向上を目指していることから、こうしたことに対し講師派遣や会場の確保、研修視察会の開催などにより優遇的な支援を行います。

II 観光客の誘致促進に関する事業

1 インフォメーション業務について

(1) 観光案内所について

引続き名張駅前西口の観光案内所を中心として、名張産業振興センター内事務局とともに観光案内機能を持たせます。観光客のみならず、市民に向けてもお楽しみスポットやイベントのお知らせなど、タイムリーな情報提供を行います。

また、青蓮寺湖ぶどう組合「山ゆり案内所」への職員派遣を行うとともに、赤目ビジターセンター「エコツアーデスク」との発信機能を中心とした情報連携を強化します。

(2) 案内所における案内のスタイルについて

- ・ ウイルス対策のガイドラインに沿って対応し、安心して過ごせる市内観光の情報の提供に努めます。
- ・ 来所のお客さまには、動画データや写真データを見せながらスポットのイメージをお教えしています。このため、観光ガイドマップにあるQRコードで読み取れる動画、写真データの頻繁なメンテナンスを行い新鮮な情報提供につなげます。
- ・ 駅前案内所は、年末年始を除き無休体制を確立します。なお、閑散期は、週一日平日の閉所とシアスピア内事務局で対応します。

2 情報の収集力、発信力の向上について

多様化するお客さまのニーズに応えるため、利用しやすい情報、タイムリーな情報を提供することに重点を置き、SNS、ホームページともに発信力を強化します。

(1) ホームページのアクセス数向上のための取組み

- ・ 名張の魅力の再検証
モデルコースを紹介する中で、季節ネタや距離・時間の表示、飲食店や土産物販売店への立寄りを挿入します。現場情報の再確認により、カテゴリー別に目を引く魅力を数パターン提供します。
- ・ 検索キーワードで上位に表示させるためのコンテンツ作成
例えば、「赤目四十八滝」、「忍者」であっても伊賀市にない「(忍者)修行体験」としたり、広域観光スポットの「室生寺」、「長谷寺」、「奈良」などの紹介とともに「宿泊」、「温泉」などとの組み合わせでヒットさせるようなコンテンツを作成します。
- ・ 動画コンテンツからのリンクでページ入口を増やします。
- ・ バーチャルツアーガイドや動画の埋め込みで、雑誌のようなイメージで記事を掲載するなど、見て楽しめる企画を展開します。
- ・ 季節感のある写真や記事を掲載するよう定期的なデータ更新を実施します。

(2) 発信内容の方向性を整理統合して来訪者ニーズに対応

ブログやFacebook、TwitterなどSNSにおいては、ホームページとは一線を画した内容やタイムリーな記事での情報発信を手掛けます。

3 プロモーション事業の推進について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しい生活様式や観光客誘致のためのガイドラインに沿った旅行スタイルのプロモーションを実施します。

(1) 観光キャンペーンなどのPR活動の実施

他の観光関係団体や観光事業者とタイアップして行う観光キャンペーンに積極的に参画します。

ただし、観光客誘致に現実的にメリットのあるキャンペーン企画を選択した参加とします。

(2) ポスター、チラシの制作

前年に引き続き、観光ポスターを制作し発信します。

また、イベント企画を伝えるチラシ制作も必要に応じて実施します。

(3) 旅行会社やメディアへの積極的な営業活動の実施

- ・ 旅行商品の商談会などでの商品提案と商談後の各社への販売促進
- ・ 広域観光を基調とした旅行エージェント向け旅行商品の企画開発と営業活動 … 体験や見学機会のある商品を主力に提案
- ・ 取材協力と興味をそそる受入れ体制を整える
- ・ 観光情報はもちろん、写真データなどのタイムリーな資料提供

(4) とこわか国体をターゲットとするプロモーションの実施

市から要請される予定のとこわか国体の関係者をターゲットとする案内業務に協力します。また、この際に協会独自のおもてなし事業をプロモーションします。

4 観光客誘致につながる市内でのイベントの推進について

コロナ禍のストレスで疲弊する市民に向けて、また、観光関連事業者の早期復興と地域の活性化を目的として、感染拡大の時勢を的確に判断しながら開催可能な手法を講じて観光客誘致につながる市内イベントを実施するように努めます。

(1) 地域イベントへの参画と協力体制の確立

地域や市内の各種団体が開催するイベントにおいて事業貢献します。ウイルス感染の拡大防止により開催を自粛してきた団体もあり本年の開催がまだ不透明なものもありますが、協会が持つ情報発信力を利用したお知らせの伝達をメインに活性化につながるよう協力します。

[予定される市内イベントと協力の内容]

- ・ 名張川納涼花火大会（実行委員会事務局）
- ・ 八日戎（福娘選考事務とはまぐり入り粕汁のふるまい）
- ・ 松明調進行事（一般応募者の取りまとめ事務）
- ・ 名張桜まつり、鮎バトル、隠街道市、名張秋まつりなど、市内イベントや伝承行事への参加協力と情報発信事務

(2) 主催イベントによる観光地づくり

① 名張嬉来てピリオドの継続

さまざまなお客さまをお迎えするにふさわしいまちの美観づくりと、飲食店を中心とした活性化対策を名張駅前西口周辺エリアで展開し、旅の印象に残る玄関口の形成に取り組めます。

② 市の乾杯条例と菓子条例の制定などをセールスポイントに加えた安心安全な形での名張の「食」の提供イベント

- ・ 「DON!BARIBAR（呑！ばりばる）」や「食フェス」、「街バル」的イベントの新しいスタイルでの開催の仕方を追及します。

(3) 広域観光連盟、電鉄会社などとの連携強化

これまでに実施してきた共催イベントの開催のみならず、旅行企画や観光情報の発信をより強固に連携強化して行います。

[連携団体]

- ・ 名張市
- ・ 三重県、東京事務所、三重テラス、関西事務所
- ・ 公益社団法人三重県観光連盟
- ・ 東大和西三重観光連盟、東奈良名張ツーリズム・マーケティング
- ・ 近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社 など

5 観光商品、旅行商品の開発と販売促進について

この事業は、新型コロナの感染拡大予防により経営の自粛を余儀なくされたり、コロナ禍で経営そのものが不振に陥った協会員を支援する取組みと位置づけ、離れていた観光客を取り戻すため、加えて協会運営における財源確保のため取り組むこととします。

(1) ふるさと納税の返礼品受発注委託業務

協会の収益事業として大きな位置づけとなっているふるさと納税の返礼品受発注業務ですが、2年度の受注実績が前年度比20%減となっています。コロナ対策での自粛ムードの中ではありますが、国内通販事業が業種によっては比較的好調であることから、季節限定商品などを中心に積極的に市へ提案し、収益の拡大に努めます。

また、体験観光チケットを商品として提供することを更に強化することや2業種以上のコラボ商品として提供するなど、納税者の来訪を誘発する新商品開発を行います。

(2) お菓子屋さんめぐり

3月末にスタートした「なばりでお菓子屋さんめぐり」は、県の緊急警戒宣言下のゴールデンウィーク過ぎにもかかわらず200件超の商品となっています。引続き、市内観光の推奨コースとして紹介し、期間限定の「事業者支援仕様」としての位置づけを持たせ、市民需要の拡大にも寄与することとします。

併せて、菓子業界で現在実施している「やしんぼセット」は、価格帯と取扱商品を見直しリニューアルを行い、名張からの手土産や慶弔時のお返し、記念品、ふるさと納税返礼品としての販売を継続します。

(3) お立ち寄り商品の開発

お菓子屋さんめぐりでも各店が工夫されているこれまでの「食べ歩き」を自粛していただく措置を講じる中で、なお試食試飲の制限があるとされる酒や肉などの名産品の店舗めぐりを第2弾として、加えて、飲食店の紹介支援を観光コースの「お立ち寄りどころ」としてWEB上からの情報を強化して案内します。

Ⅲ 会員事業と協会運営に関わる事業

1 協会事務事業の実情に沿った部会活動の再検討について

運営ビジョンに沿い設置した部会制度について、コロナ禍であることも影響しその活動は招集機会を得ることなく停滞しているところです。

とりわけ協議内容が理事会の決議事項と重なることが多く招集機会のない総合戦略部会と企画開発部会については、その役割を整理します。会員交流部会、女性部会については、事業目的を明確にして協議内容を絞り込むなどし、コロナ禍ではありますができる限り会員参加による事務事業を計画した中で実践していきます。

また、地域の社団法人として協会が果たすべき役割を果たし、市民から信頼を寄せられる安定した協会運営を目指します。

2 「名張かわまちづくり事業」の推進について

国土交通省と名張市が黒田地内で引き堤事業と一体化して実施している「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」の護岸工事が順次施工されつつあります。

一昨年に協会内に設置した「名張かわまちづくり推進委員会」における協議を深めていく考えではありますが、同様に「名張の観光の要所づくりとしての機能を備えた施設の設置を目指すところ」と考える名張商工会議所や市の関係部署とスケジュール的に制約が出つつあるところですが、連携する中で議論を尽くし、プロジェクト化した詳細なプランを策定していきたいと考えています。

3 会員特典の追求について

現在実施している協会ホームページ上のアカウント情報の提供（自身でHP上のお知らせ更新が行える会員向けページへの事業参画）をさらに会員に勧め、これによる新たな観光素材の創造に期待するとともに、これらの投稿掲載を反映した旅行商品化やふるさと納税返礼品の新商品化を進めます。

また、会員対象のスキルアップ研修や学習会などの参加機会を提供し、安定した事業経営やタイムリーな市場対応を応援しながら、「観光マインド」の形成をも促すこととします。

こうした機会を通じてさらに会員間交流を深め、会員特典のイメージを高めていきながら、コロナ禍での会員の脱会を食い止めるとともに新規会員の獲得増強につなげます。